

健康登山60:周辺の山30 (錫杖ヶ岳)

コース	京都駅 加太駅 2.2km/43 1.1km/46	三角点 1.8km/55	登山口 1.0km/32	福徳山医王寺 4.3m/66	錫杖ヶ岳 1.0km/61	関駅 京都駅
水平距離	11.4km		断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km			
水平換算距離	15.1km					
累計高低差	登り740m、下り815m					
標準歩行時間	5:02					
実績歩行時間	5:20					



山行報告

山行日 2010・11・4 (木) 天候 快晴 参加者 7名

行動 京都駅7:41 加太駅9:07~9:18 登山口9:54 錫杖ヶ岳(昼食) 11:27~12:22 三角点(小雀ノ頭)13:17 福徳山医王院14:34 関駅15:27~15:48 京都駅17:27

記録

ガイドブックによると登山道は加太、関、錫杖湖から2本、合計4本あり、錫杖湖から登るのが一般的とのこと。しかし今回はJRの駅から歩きたいのでJR加太駅から登り、関駅へ下る縦走ルートを選んだ。
 加太駅の南にある国道25号線を渡り、名阪国道のガードを潜ったところで、右折してすぐに左折しなければならない。これで登山口に通じる林道柚ノ木越線に入れた。林道を1.5km歩くと、登山口の標識があり駐車場も設けられている。
 登りはじめるとすぐに1番の標識があり山頂まで1800mと書かれている。登山口から山頂まで2000mあり200mごとに標識がある。柚之木峠は中ほどにあってベンチも置かれている、ここで一休みした。柚之木峠からは勾配がきつくなるが要所にはロープが張られていて、誰でも安全に登れるようによく整備されている。
 錫杖湖からの登山道と合流するとすぐに山頂に着いた。山頂の岩場から360度の展望を楽しみながら昼食をした。北には鈴鹿の山々、東には伊勢湾、南には布引山地の風車群、そして眼下には錫杖湖や今日の目的地である関の市街地が見られた。
 1時間ほど山頂の風景を満喫して次の休憩ポイントである三角点に向った。200m下って100m登り返すのだが、いくつかのアップダウンがあってなかなか厳しかった。
 途中、錫杖湖へ下る分岐点には津警察署の注意を促す看板もあり、ここからは道標は無く踏み跡を辿って歩くことになる。三角点の北360mの地点から東に伸びる急傾斜の尾根道を下り、地図の破線道が直角に右折する地点からは直線的に谷へくだる最短ルートを選んで林道に出た。
 判断を要する分岐点ではGPSによる現在地確認が役立った。
 福徳山医王寺から関駅まで4.3kmを1時間弱で歩き、関駅15:48発の列車で帰京。

周辺の山（錫杖ヶ岳）



①登山口
09:55

②整備された
登山道
10:07



③岩場を登る
11:14

④錫杖ヶ岳頂上
12:16



⑤山頂にて
背景は錫杖湖
12:11

⑥錫杖湖への分岐
12:47



⑦錫杖ヶ岳
13:07

⑧三角点を
囲んで
13:22



⑨加太川を渡る
15:15

⑩関駅から見た
錫杖ヶ岳の稜線
15:39



名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：錫杖ヶ岳）

参考資料 ホームページ他より

加太(谷)：400~800mの山に囲まれた小さな盆地。集落は帯のように細長く東西にのびている。

数百年前は大きな湖沼であったという梶ヶ坂の山の炭坑跡から古代の貝の化石が発見されて解ったそうです。一番低い東方を突き破って沼の水が流失し現在の地形になったと考えられています。

鹿伏兔の地名：地名の由来はいろいろありどの説も根拠が解らないそうです。

- 1) 仁徳天皇或いは聖武天皇がこの地をお通りになったとき、土地の人々が「鹿」と「兔」を獲って献上したので、天皇はたいそう喜ばれ、それ以来この土地を『鹿伏兔』と呼ぶようになったという。
- 2) 古くから加太川と中在家川と合流する地点に川俣神社が祀られ「かばた」が転化したものといわれる。
主祭神：大比古命（第八代孝元天皇の第一皇子、道路の守り神）
- 3) 源義経が木曾義仲追討のためここを通った時、この地方から味方に加わった武士が多数あったので加太と書くようになった。
- 4) 大阪冬の陣のあと、藤堂高虎にその功を認められて、鹿伏兔など九ヶ村に五万石を加増されその時の加増を祝って加太と書き改められた。
- 5) 前回のミニガイド「加太越」で「鹿伏兔城」について取り上げています。

錫杖ヶ岳：標高 676m。南北に長い布引山地の北端にあり、三重県亀山市の南に位置する。

磐座信仰と修験者の聖地と雨乞いの山。山頂は巨岩がある。

干ばつときこの山に登ると雨が降るといふ信仰があった。大正時代まで雨乞い登山は続いていた。登る人の姿を見たら明日は雨が降ると語り合ったといわれている。現在は毎日のように登山者がのぼっています。

東側から見ると雀の頭のように丸く盛り上がっているところから地元では、
雀頭山、雀頭山しゃくとうざなどの別名がある。

山容が修験者の持つ錫杖の輪の部分に似ているから錫杖しゃくじょうの名がついた説もあるが定かでない。

他に百頭山ひゃくとうざんや、江戸時代の画家『谷文晁』の画集で国内 90 の名山を描いた『日本名山図会』に「百丈岳」として描かれています。

また南峰の経ガ峰方面から見ると鋭鋒から「伊勢の槍ヶ岳」と呼ぶ人もいる。麓の各集落から山頂へ登山道が付けられています。

- 【展望】低山ながら 360 度と抜群 1 時間居ても飽きないといわれています。
- 北) 真下は加太集落、鈴鹿山系南部の山々、
北西に油日岳、那須ヶ原、高畑山などの稜線。
 - 東) 伊勢平野、鳥羽、津、四日市、桑名、名古屋、伊勢湾の向こうに知多半島
と中部国際空港、天気が澄んでいれば木曾御嶽も見えとか。
 - 南) 真下に錫丈湖、経ガ峰、青山高原の風力発電、笠取山航空レーダードーム、
局ガ岳。
 - 西) 霊山、伊賀盆地、名阪国道、シャープ亀山工場、

小雀の頭：三等三角点 574.7m。福德登山口に向かう尾根途中の稜線峰。
本峰(雀頭)より 100m低い。行程は本峰から登り下りで 50 分。

錫丈ヶ岳の主：登山者達から「錫丈ヶ岳の主さん、女仙人さん」とも呼ばれている
スーパーウーマン。2002 年 11 月中日新聞三重版に錫丈ヶ岳 1000 回登山達
成の記事が掲載され一躍時の人となった津市在住の荘司美佐子さんのこと
です。
ある登山者は、登山中に下山してくる女性に遭い、錫丈湖から頂上北側に下
山し再び頂上から錫丈湖に戻る話を聞いて唖然としたそうです。
「主さん」に出合っている登山者は少なくありません。出会うと情報がもら
えるそうです。新聞掲載から 8 年経過しています。現在千何回目の登山を継
続中と思われまます。もし出合えば尋ねてほしいものです。

錫丈湖：安濃川のダム湖。昭和 61 年完成。堰高 73m、堰長 212m、流域面積 27.5 km²。
安濃川は津市の中心を流れ伊勢湾にそそぐ二級河川。
水位が下がると石の達磨が現れます。
錫丈湖周辺は良く整備され、公園や 4.5 km の遊歩道や湖水荘などの宿泊設
備もあります。
錫丈ヶ岳の登山道が下之垣しものかいと内に東西に二つあり、本法寺西コースで、往復 6
km 3 時間のお手軽登山ができます。いずれも一般コースとして人気があり
ます。

御おんまや厩の松：周囲 6m、樹高 15m、樹齢 407 年の「松」です。三重県の天然記念物に指
定された。昭和 58 年(1983)枯れ死し、現在は「根株」が保存されています。
松は「伊勢別街道」の「鈴鹿駅舎跡」にあったものです。
大化改新後に街道筋に駅舎が設けられ様になった。馬 20 匹を常備、駅舎、
厩、井戸などの設備が整えられ、目印に「松」が植えられていました。
駅舎の井戸とされる「都追美井」は御神体とされる大井神社の旧蹟だそうで
す。

駅舎跡、井戸、大井神社石碑は、いずれも関駅への途中にあります。(関町古厩)

伊勢別街道は「いせみち」「参宮道」「山田道」などと記され「伊勢別街道」の呼び名は明治 10 年以降であるらしいです。

勸進橋 : 鈴鹿川(加太川下流)に架かる橋で、度々の洪水で橋が流失。
勸進による浄財から架けられ、その名がついた。
勸進橋を北上すると「伊勢別街道」と「東海道」との分岐に出る。
そこに「伊勢神宮」の「一の鳥居」があります。
伊勢内宮の宇治橋の南詰めの鳥居が遷宮の都度移設されたものです。
伊勢に参拝できない人のために、嘉永 2 年(1849)から行われているそうです。
JR 関駅には勸進橋は渡りますが東海道には出ません。(遠回りなら可)

京都伏見深草に鴨川に架かる同名の「勸進橋」があります。
渡り賃を取られた私有の橋で、伏見稻荷大社の改修費にあてられたという。
幕末当時は「会姓寺橋^{かいしょうじ}」といい、「銭取橋」とも言はれていた。
1864 年 6 月の池田屋事件後、長州藩の京都進軍を防ぐため、幕軍は九条河原に布陣し、新選組は銭取橋の東の堤下に宿陣した。
また新選組から離隊を申し出た、五番組組長「武田観柳斎」がここで殺害されたという話がある。

長岡京市に小畑川に架かる一文橋があります。橋を渡るのに「銭一文」を払って(有料)いたといい、その名が残っています。